住　所：廿日市市津田６９－１
ＴＥＬ：０８２９－７２－１１４５
ＦＡＸ：０８２９－７２－１１４６
ＵＲＬ：http//www.saiki-J.hiroshima-c.ed.jp
推進者：田中　暢哉

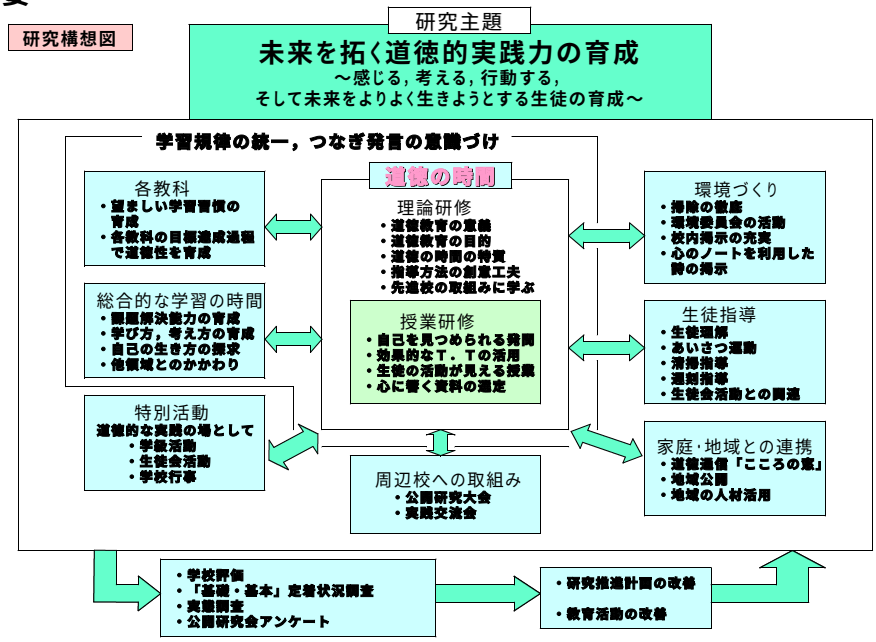
廿日市市立佐伯中学校

1　研究主題

「未来を拓く道徳的実践力の育成」

～　感じる，考える，行動する，
そして未来をよりよく生きようとする生徒の育成　～

2　研究の概要



3　心に響く道徳の授業「ベスト３」

学　　年	第１学年	第２学年	第３学年
主題名	家族愛 ４－（６）	法のきまりの遵守 ４－（２）	思いやり ２－（２）
ねらい	病気と闘いながら，子どもたちを深い愛情で包む筆者の心情にふれると共に，保護者からの手紙を読むことで，親の深い愛情に気づかせ，望ましい家族関係を築こうとする態度を育てる。	法やきまりは自分だけでなく，相手や集団を守るためにあることを理解し，よりよい社会の実現のために正しい行動をとろうとする心情を育てる。	ヤコブに対する「わたし」の心の変化を通して，人間には強さや気高さがあることを信じて，生きることに喜びを見いだそうとする態度を養う。
資料名（出典）	二人の子どもたちへ （暁教育出版）	朝日新聞社説より （とっておきの道徳授業Ⅱ）	カーテンの向こう （教育出版）
指導の工夫	数名の保護者の方に授業に参加してもらい，我が子の成長を願う親の気持ちを話してもらった。 また，事前に保護者の方に子どもへの願いを込めた手紙を書いてもらい，授業の中で生徒に読ませ，親の深い愛情を実感できるようにした。	事情によっては法を破っても仕方がないのかどうかを，朝日新聞に投書された２つの事例から考えさせた。生徒の意見を引き出すために，ネームプレートを黒板に貼り，自分の立場を明確にしてＴ１とＴ２はそれぞれ逆立場に立ち，生徒の意見を支援していった。	資料の世界に入りやすくするために，病院の窓とそれにかかるカーテンのセットを提示し，雰囲気づくりを行った。 自分が「わたし」であったら，真実を話すのかそれともヤコブのように架空の話をするのか，ネームプレートを貼り，全員の意見を引き出すようにした。